

CS だより



西条のほたるっ子

【学校教育目標】『確かな学力を身につけた心身ともに健康な子どもの育成』

昭和町立西条小学校
学校だより No.7
令和4年10月20日
校長 本田 司

秋季大運動会

Sunshine Smile ～三色の想いを～

9月25日（日）、台風15号の影響により1日順延となりましたが、保護者や地域の皆様のご理解とご協力を得て、秋季大運動会を開催することができました。ありがとうございました。



低学年の表現は、「サチアレ」でした。リズムに乗った色とりどりのポンポンの動きが、とても印象的でした。

1年生の「きらめけ！にじいろ1年生！」は、折り返しリレーでした。一生懸命走る姿に成長を感じました。

2年生の「ゴロゴロ、クルッ、ピタッ」は、大玉を使った競争でした。身長より大きな大玉を力を合わせて転がしていました。

中学年の表現は、「西条ソーラン2022」でした。躍動感と力強さ、かけ声もバッチリ決まっていました。

3年生の「トッラン」は、トラックを使ったリレーでした。コーナートップやバトンパス、難しさもありましたが、頑張りました。

4年生の「君の縄」は、綱引きでした。間隔を取りながら、思いきり引く様子に見ている方も力が入りました。



高学年の表現は、「Fun Expression」でした。前半のダンスはカッコ良く、後半のフラッグの動きは、音と共に目に焼き付きました。

5年生の「巻き起こせ五年旋風」は、3人で棒を持っての障害走で、そのスピード感にたくましさを感じました。

6年生の「走～輝き～」は、小学校生活最後の全員リレーでした。見ているだけで、熱いものがこみ上げてきました。



稲刈り体験をしました

10月4日（火）に、5年生が主任児童委員の福田さんの田んぼで稲刈り体験をしました。1学期には、自分たちで苗を育てて、田植えもさせてもらいました。その稲の収穫を迎えることができました。

当日は、暑いぐらいの天候に恵まれ、大きく育った稲は日差しを受けて輝いていました。福田さんから稲の刈り方について指導をしていただき、グループに分かれて作業を進めました。初めて稲刈りを行う児童は、鎌の使い方に戸惑う様子もありましたが、慣れてくると稲を刈る音がとても心地よく感じるほどでした。しかし、結構な重労働で大変さを実感したのも事実でした。「お米の大切さが分かりました。」という声が出るほど、何気なく食べているご飯のありがたみを感じる貴重な体験となりました。また、保護者の方がボランティアで付き添ってくれました。感謝申し上げます。

なかよしプロジェクトをしました

10月6日（木）の中休みに、児童会主催のなかよしプロジェクトを行いました。当初は、7月に計画されていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたため、延期されました。今回は、感染状況が改善されてきていたことから実施できました。たてわり班ごとに各教室に集まり、6年生がリーダーシップを取り、感染対策を考慮した上での簡単なゲームを考えて、異年齢集団での交流を図りました。11月には、ゲームウォークラリーが計画されています。今回は、それに向けての布石とも言える活動となりました。全校のつながりを深めていけるといいなと思います。

しょうゆもの知り博士出前授業をしました

10月7日（金）にテンヨ武田から2名の講師に來校していただき、「しょうゆもの知り博士」の出前授業を実施し、醤油の原料や作り方について楽しく学びました。醤油には、300種類の香り成分が含まれていることやできたての醤油は赤い色をしていることなど、たくさんの秘密を教えてくださいました。最後には、もろみの醤油などを味見させていただき、どの子も口々に感想を伝え合っていました。身近な醤油について、たくさんのことを学ぶことができた良い機会となりました。

昭和町ふるさとかるた

㊦「六地藏 最古のものは 妙源寺」 妙源寺の六地藏石幢（西条一区）

仏教では、人は死後に地獄、畜生、餓鬼などの世界を廻るという考えがあり、六地藏はそれらの人々を救うとされている。妙源寺の六地藏は、1411年に建てられた。

卒業式の児童の服装についてお願い

卒業式については、学校行事における儀式的行事として行われると同時に、児童にとっては最後の授業として、6年間の成長や学びの成果を実感できるように取り組んでいます。近年、卒業式での児童の和装による参加について話題になっております。卒業式は、長時間にわたる緊張が強いられることや移動（歩行）や用便においても普段から着慣れた洋服の方が身体への負担が少なく望ましいと考えられます。本校としましても和装でない方がよいと考えております。保護者の皆様には様々な考えがあるかと存じますが、ご理解・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

尚、常永小学校では、「卒業式は洋服」というルールで現在に至っております。また、押原小学校では、本校と同様な考えのもと対応を考えています。